



**寺林 俊幸**  
議員  
(政清会)

**問** 町長は、このたびの町長選において多くの町民の支持を得て当選された。新たな幕別町のトップリーダーとして本町の舵取りを期待するとともに、町政に対する決意を伺う。

町長は、「子どもたちの未来のために」をキャッチフレーズに、スピード感、説明責任、法令遵守を基本理念として掲げ、5つの基本政策目標、23の公約を住民に訴えてきたが、本町の置かれた現状の認識とこれからの課題解決についてどう結び付けて取り組まれるのか、以下の項目について伺う。

- (1)人口減少対策。
- (2)少子化対策。
- (3)産業振興、雇用対策。
- (4)定住対策。
- (5)地域活性化対策。
- (6)住民参加のまちづくり。
- (7)子ども医療費の負担軽減、高齢者福祉対策。

**町長** (1)定住対策、子育て支援、高齢者対策、防災対策、産業の振

**問** これからの町政運営について

**答** 町民の皆さんと対話を重ね、活力ある経済、安心に暮らせる地域社会の実現を目指す

興などあらゆる施策を総動員して、この町に住んでみたい、子どもを産み育ててみたいと思ってもらえる魅力づくりに努めていく。

(2)少子化の対応には、「子育ての経済的負担」の軽減を図る必要があると考えており、まず、「子ども医療費の無料化の拡大」について優先して取り組み、安心して子どもを産み育ててもらえるよう妊娠期から子育て期までの切れ目のない相談体制の構築にも取り組んでいく。

(3)産業振興、経済の活性化には農業の経営体質強化を図っていくことが重要である。

商工業の振興については、商工会と連携を図りながら、各種活性化事業に対し必要な支援を行うとともに、空き店舗対策や住宅新築リフォーム奨励事業を引き続き実施していく。

企業誘致対策については、既存企業の本社などへの事業の拡大要望や新規企業誘致に向けた情報発信、さらには優遇制度のPR活動

などに取り組んでいく。

雇用対策については、ハローワークと連携した雇用相談業務の強化や緊急雇用対策、未就職の新卒者対策などに取り組む、雇用の安定を図りたい。

(4)定住促進住宅建設費補助金交付事業の実施では、平成26年度までの3年間の実績は68件で、そのうち31件72人が町外から転入した。

4月からは、対象地域を全町に広げたマイホーム応援事業を5年間の事業として実施している。

(5)「人」は何よりも大事な地域資源であり、連携協定を締結する北海道科学大学から講師を招き実施している「幕別町コミュニティカレッジ」などの機会を通じ人材の育成に取り組んでいく。

忠類地域では、道の駅周辺の観光施設や白銀台スキー場、シーニックカフェちゅうるいなどの地域資源を活かした観光振興を図り、交流人口の増加に努めていく。

(6)多様化、高度化する住民ニーズや地域の抱える課題に的確に

ていくため、町民と直接対話する機会を積極的に設け、「協働によるまちづくり」をより実効性のあるものにしていきたい。

(7)子ども医療費については、中学校卒業までの医療費の無料化と所得制限の撤廃を本年10月から実施し、高齢者福祉対策については高齢者見守りネットワークや地域サロンの支援に努めたい。

**再質問** 町長は、公約の中では「町民との対話から町民とともに町民の思いを実現するまちづくりを推進します」と挙げているが、実行に当たっては、どのような方策を描いているか伺う。

**答** 就任後、公区や団体と意見交換しているが、積極的に自分で飛び込んで対話を重ねながら、まちづくりの協力を要請していきたい。



「幕別町コミュニティカレッジ」の受講風景